



2022年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社デジタルメディアプロフェッショナル
代 表 者 名 代表取締役社長兼COO 大澤 剛
(コード番号3652、東証グロース)
問 合 せ 先 執行役員CFO経理部長 (兼)
経営企画部長 家高 朋之
T E L 03-6454-0450

業績予想と実績値の差異および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2021年11月10日に公表しました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。また、特別損失を計上することとなりましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値の差異について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想と実績のとの差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,650	△200	△200	△202	△64.16
今回実績額 (B)	1,667	△126	△122	△157	△49.93
増減額 (B-A)	17	73	77	44	
増減率 (%)	1.0%	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	1,009	△425	△361	△364	△116.03

(2) 連結業績予想と実績の差異の理由

売上高につきましては、前回発表予想の前提に沿った形で推移しました。その一方で、利益面につきましては、労務費・経費が想定を下回り、営業損失、経常損失は前回発表予想から改善いたしました。また、親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、「2. 特別損失の計上について」に記載のとおり、特別損失（投資有価証券評価損）33百万円を計上いたしましたが、経常損失の改善額がそれを上回ったため、前回発表予想から改善いたしました。

2. 特別損失の計上について

当社が保有する投資有価証券1銘柄につきまして、帳簿価額に比べて実質価額が著しく下落したため、その回収可能性を総合的に検討した結果、減損処理を行う必要があると判断しました。これにより投資有

価証券評価損33百万円を2022年3月期に特別損失として計上することとなりました。

以 上